



# かすがい 市議会 だより



**第93号**  
2017年5月  
(年5回発行予定)

もくじ

・特別会計当初予算案など…	2
・代表質問…	5
・一般質問…	9

内々神社

内々神社は、「延喜式神名帳」に記載がある古い神社で、「妙見宮由緒書」によると景行天皇41年(西暦111年)創建とされています。県指定文化財の社殿には、龍などの彫刻が今もなお生き生きとしていて、その裏には県指定名勝の庭園もあり、とても立派な神社です。

## 平成29年 第1回定例会 (2月17日～3月14日)

今定例会では、市長による平成29年度の市政方針説明の後、4会派により代表質問を行いました。また、平成29年度予算案の他、補正予算案2件、条例案16件、一般議案5件、人事案件1件、議員提出議案1件が提出され、原案の通り可決、了承されました。請願2件を不採択としました。なお、3月9日には11人の議員が一般質問を行い、市の考えをいただきました。

### 平成29年度 一般会計当初予算案

#### ◆一般会計予算

【原案可決：賛成多数】

一般会計は、一般廃棄物最終処分場、JR春日井駅南北自由通路、市営下原住宅の整備が完了したこと、小学校の普通教室へのエアコン設置が完了したことなどにより、前年度と比べ35億円(3.5%)減少し966億円となりました。

【歳入】市税は前年から7億4,400万円(1.5%)増加し、過去最高の513億1,000万円。

自動車取得税交付金は、エコカー減税の対象となる車種が絞り込まれることで、1億7,600万円(73.3%)増加し4億1,600万円。

国庫支出金は市営下原住宅、一般廃棄物最終処分場、JR春日井駅南北自由通路の整備が完了したことなどにより、25億5,651万3,000円(15.8%)減少し136億5,917万円。

寄附金は1億2,948万円(24.3%)減少し4億300万円、市債は14億4,340万円(15.1%)減少し81億1,670万円。

【歳出】義務的経費は1億3,886万4,000円(0.3%)増加し、482億6,221万1,000円。

投資的経費は小学校普通教室へのエアコン設置完了などにより39億1,749万8,000円(28%)減少し100億5,710万9,000円。その他の経費は2億7,863万4,000円(0.7%)

増加し382億8,068万円で、まちづくり会社を作るための出資金として、投資及び出資金1,100万円を新たに計上しました。

○**総務費** 神領駅西自転車・バイク駐車場新設、民間建築物耐震診断・耐震改修費補助など。

○**民生費** 子どもに対する学習支援事業の開始、私立保育園等へのAED設置費補助、旧藤山台東小学校施設の児童館整備など。

○**衛生費** 産後健康診査の助成、定期予防接種、空き家解体費補助など。

○**労働費** 勤労福祉会館小工事、中小製造業の若手技術者を紹介する「ゲンバ男子」など。

○**農林水産業費** 新型市民農園実施設計、有害鳥獣駆除対策、かすがい農業塾など。

○**商工費** 広域イベント開催・誘致推進事業、工場等の新増設・移転等に関する支援、販路開拓・雇用促進等の企業活動支援など。

○**土木費** 橋りょう耐震補強、旧藤山台東小学校施設整備、JR春日井駅前広場整備、高座線整備など。

○**消防費** 救急救命士養成、特殊災害に対応する特別消火中隊の新設、消防車両整備など。

○**教育費** スクール・セーフティ・サポーター、スクール・ソーシャル・ワーカーの増員、旧藤山台東小学校施設の図書館整備、総合体育館・温水プール小工事など。

## 平成29年度 特別会計当初予算案(9件)

特別会計は、今年度から大泉寺地区企業用地整備事業の19億7,506万4,000円が加わりました。公共用地先行取得事業は前年と比べ6億6,588万1,000円(73%)減少の2億4,609万4,000円、国民健康保険事業(療養給付費や後期高齢者医療支援金他)は前年と比べ5億2,304万8,000円(1.5%)減少の355億4,426万1,000円、後期高齢者医療事業は前年と比べ4億8,590万1,000円(11.6%)増加の46億9,110万円、介護保険事業(介護サービス給付費や包括的支援等事業や介護予防・日常生活支援総合事業)は前年と比べ8,112万8,000円(0.4%)減少の189億8,237万円、介護サービス事業(通所介護事業や居宅介護支援事業他)は前年と比べ421万4,000円(4%)減少の1億151万9,000円、民家防音事業(空調機能回復他)は前年と比べ332万4,000円(9.2%)減少の3,266万1,000円、潮見坂平和公園事業(墓所管理システム構築や墓園事業他)は前年と比べ1,880万6,000円(13.6%)増加の1億5,742万4,000円、松河戸土地区画整理事業(清算金業務他)は前年と比べ4,682万1,000円(20.3%)増加の2億7,732万6,000円となり、全9会計で前年と比べ12億4,899万7,000円(2.1%)増加の総額620億781万9,000円となりました。

- ◆公共用地先行取得事業特別会計予算 【原案可決：全会一致】
- ◆国民健康保険事業特別会計予算 【原案可決：賛成多数】
- ◆後期高齢者医療事業特別会計予算 【原案可決：賛成多数】
- ◆介護保険事業特別会計予算 【原案可決：全会一致】
- ◆介護サービス事業特別会計予算 【原案可決：全会一致】
- ◆民家防音事業特別会計予算 【原案可決：全会一致】
- ◆大泉寺地区企業用地整備事業特別会計予算 【原案可決：全会一致】
- ◆潮見坂平和公園事業特別会計予算 【原案可決：全会一致】
- ◆松河戸土地区画整理事業特別会計予算 【原案可決：全会一致】

## 平成29年度 企業会計当初予算案(3件)

企業会計は、市民病院事業、水道事業、公共下水道事業の3会計で、総額414億9,212万9,000円です。

- ◆市民病院事業会計予算 【原案可決：全会一致】  
総額183億7,718万8,000円で前年度に比べて1億6,048万6,000円(0.9%)増加です。

本市民病院は平成27年に愛知県から救命救急センターとして指定され、一次・二次救急医療機関、消防機関と連携し、一般の救急医療機関では対応出来ない重篤な患者に対し、24時間体制で高度な医療を提供しています。また、地域の医療機関の中核として、更に質の高い医療の提供に努めるために、地域の医療機関と役割を分担し、地域完結型の医療サービスを拡充していく必要があります。今年度は電子カルテの更新にあわせ、市民病院と地域の医療機関、そして介護サービス事業者等が患者情報を共有できるようシステムの整備を進め、退院後もサポートしていける体制を作っていきます。また、質の高い医療を提供すると共に医師の確保にもつなげるよう、最新のMRI等器械備品の購入を行います。

- ◆水道事業会計予算 【原案可決：全会一致】  
総額72億631万1,000円で、前年度に比べて21億3,814万8,000円(22.9%)減少です。

本市では、尾張水道用水と愛知用水から取水された浄水と市内の深井戸から揚水した浄水を配水しています。8割が県営水道である尾張水道用水と愛知用水からの受水です。平成26年から28年度にかけて、自己水の配水設備である知多配水場の全面更新工事、それに伴い県水の受入を約10%増やし県から水を購入していましたが、29年度は更新工事も終わったことから、工事費と購入費が減り、大幅な減少となっています。

水道施設整備事業が全体で14億1,396万1,000円。その内、今年度から来年度にかけての継続事業である高蔵寺中区・低区配水場更新が4億6,200万円。地域水道ビジョンに基づき作成された、春日井市水道事業中長期施設整備計画を踏まえ、安心できる水の供給を目指しています。

- ◆公共下水道事業会計予算 【原案可決：全会一致】  
総額159億863万円で、前年度に比べて11億9,048万8,000円(8.1%)増加です。

公共下水道は、公共用水域の水質保全、公衆衛生の向上と浸水被害防止など快適な生活環境を保持していく上で大きな役割を担っています。平成27年度末現在の普及率は約67.4%で、接続戸数は6万9,367戸です。

管渠施設等整備事業として平成28年から29年度の継続事業である地蔵ヶ池公園調整池整備や熊野桜佐土地区画整理地区管渠整備などで21億151万4,000円。ポンプ場施設整備事業では平成28年から30年度の継続事業である南部ポンプ場増設事業などで22億2,297万1,000円。下水道基本計画に基づき作成された、公共下水道事業中長期施設整備計画を踏まえ、都市浸水に対する安全度を向上させるため、調整池、雨水ポンプ場整備を行っています。

## ■平成28年度補正予算案(2件)

### ◆一般会計補正予算 【原案可決：賛成多数】

歳入歳出予算に3億7,923万3,000円を増額補正するものです。

【歳入】主な増額補正は、法人市民税2億円、国庫支出金1億9,173万2,000円、前年度繰越金2億3,458万円、市債1億6,960万円などです。主な減額補正は、一般寄附金1億2,942万4,000円、繰入金3億46万2,000円などです。

【歳出】主な増額補正は、多目的総合運動広場整備（朝宮公園整備基本計画策定）4,000万円、福祉応援券1億円、旧藤山台東小学校施設整備1億2,000万円（コミュニティカフェ、会議室等）、小中学校トイレ洋式化工事1億4,600万円などです。主な減額補正は、まちづくり寄附基金積立金1億3,000万円などです。

### ◆国民健康保険事業特別会計補正予算 【原案可決：全会一致】

高額医療費共同事業医療費拠出金4,000万円を増額補正するものです。

## ■条例案(16件)

### ◆附属機関設置条例の一部を改正する条例 【原案可決：全会一致】

新たに高蔵寺リ・ニュータウン推進会議を附属機関として設置する等のためのものです。

### ◆個人情報保護条例等の一部を改正する条例 【原案可決：全会一致】

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正に伴い、規定を整備するためのものです。

### ◆職員定数条例の一部を改正する条例 【原案可決：全会一致】

職員の定数を改正する等のためのものです。

### ◆職員の配偶者同行休業に関する条例 【原案可決：全会一致】

勤務等により外国に滞在する配偶者と生活を共にするための配偶者同行休業制度を設けるためのものです。

### ◆職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 【原案可決：全会一致】

市民病院における職名の変更に伴い、規定を整備するためのものです。

### ◆特別会計設置に関する条例の一部を改正する条例 【原案可決：全会一致】

大泉寺地区企業用地整備事業の施行に伴い、新たに特別会計を設置するためのものです。

### ◆行政財産目的外使用料条例の一部を改正する条例 【原案可決：賛成多数】

道路占用料の額の改定に準じ、行政財産目的外使用料の額を改定するためのものです。

### ◆出張所設置条例の一部を改正する条例 【原案可決：全会一致】

坂下出張所の移転に伴い、位置を改めるためのものです。

### ◆東部市民センター条例の一部を改正する条例 【原案可決：全会一致】

新たに映写設備に係る使用料を設定する等のためのものです。

### ◆工場立地に関する準則を定める条例の一部を改正する条例 【原案可決：全会一致】

工場立地法の一部改正に伴い、規定を整備するためのものです。

### ◆手数料条例の一部を改正する条例 【原案可決：全会一致】

建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律の制定等に伴い、新たに手数料を定めるためのものです。

### ◆道路条例の一部を改正する条例 【原案可決：賛成多数】

道路法施行令の一部改正等に伴い、道路占用料の額を改定する等のためのものです。

### ◆公共用物管理条例の一部を改正する条例 【原案可決：賛成多数】

道路占用料の額の改定に準じ、公共用物使用料の額を改定するためのものです。

### ◆都市公園条例の一部を改正する条例 【原案可決：賛成多数】

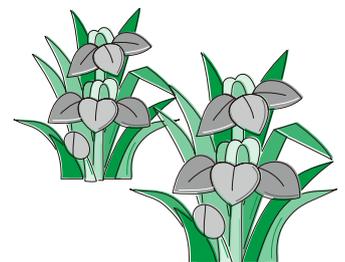
道路占用料の額の改定に準じ、都市公園使用料の額を改定するためのものです。

### ◆準用河川条例の一部を改正する条例 【原案可決：賛成多数】

道路占用料の額の改定に準じ、準用河川に係る土地占用料の額を改定するためのものです。

### ◆尾張都市計画下水道事業受益者負担に関する条例の一部を改正する条例 【原案可決：全会一致】

受益者負担金の算出に係る単位負担額を改定する等規定を整備するためのものです。



## ■一般議案(5件)

◆市道路線の廃止（4件） 【原案可決：全会一致】

◆市道路線の認定（17件） 【原案可決：全会一致】

◆阿原跨線道路橋補修工事の請負契約  
【原案可決：全会一致】

工事名 阿原跨線道路橋補修工事

契約金額 4億932万円

契約の相手方 岐建・猪野特定建設工事共同企業体

工事内容 補修工事一式

◆東部市民センター駐車場用地の取得  
【原案可決：全会一致】

場所 春日井市中央台2丁目1番3ほか1筆

面積 8,244.44㎡

取得金額 6億4,636万3,253円

契約の相手方 春日井市土地開発公社

◆文化・スポーツ都市宣言 【原案可決：全会一致】  
全文は次のとおりです。

文化やスポーツは、心豊かな生活や生きがいがづくり、健康づくりに必要なものであるとともに、地域に対する愛着や誇りを育て、地域コミュニティの醸成に大きな役割を果たします。

私たちは、文化やスポーツの持つ力を改めて認識しつつ、市民、企業等及び市が一体となって、明るく心豊かで活力あるまちをめざし、ここに「文化・スポーツ都市」を宣言します。

1 私たちは、文化を愛し、創造と継承の心を育みます

1 私たちは、スポーツに親しみ、健やかな心と体をつくります

1 私たちは、文化やスポーツを通して地域の絆を深め、すべての市民がいきいきと暮らせるまちをつくります

## ■請願審議(2件)

2件の請願が提出され、委員会に付託し審査しました。その後、本会議で委員長の審査結果報告があり、採決の結果は次のとおりです。

◆すべての子どもたちがゆたかに育つために、「市町村の保育実施義務」を求める請願書 【不採択】

◆高齢者が安心して介護・医療が受けられるよう求める請願書 【不採択】

## ■人事案件(1件)

任期満了に伴い、人権擁護委員に高木基晴氏の推薦を了承しました。

## ■議員提出議案(1件)

◆市議会委員会条例の一部を改正する条例  
【原案可決：全会一致】

常任委員の任期は1年であり、また後任者が選任されるまで在任するものであるが、その規定にかかわらず、任期満了の日前30日以内に改選が行われたときは、その改選の時に前任の委員の任期が満了するものと、規定を加えるものです。

## ■委員会開催状況

◆文教経済委員会（1月30日）

報告事項

- 1 坂下出張所整備について
- 2 国民健康保険 過年度分前期高齢者交付金の返還について
- 3 春日井市いじめ防止基本方針について

◆厚生委員会（1月31日）

報告事項

- 1 シルバー人材センターの施設の移転について
- 2 地域包括支援センターの再編について
- 3 クリーンセンター灰溶融設備休止について
- 4 第2次春日井市民病院中期経営計画の改定について

◆建設委員会（2月1日）

報告事項

- 1 春日井市立地適正化計画（案）について
- 2 旧藤山台東小学校施設整備実施設計について
- 3 春日井市緑の奨励金事業について

◆総務委員会（2月2日）

報告事項

- 1 朝宮公園整備構想（案）について
- 2 春日井市公共施設等マネジメント計画（案）について
- 3 第10次春日井市交通安全計画について

◆総合計画特別委員会（2月6日）

報告事項

- 1 次期総合計画の構成案について
- 2 基本構想の骨子案について

◆文教経済委員会（3月1日）付託議案9件、請願1件

◆厚生委員会（3月2日）付託議案6件、請願2件

◆建設委員会（3月6日）付託議案15件

◆総務委員会（3月7日）付託議案11件

代表  
質問

# 市政方針に対する代表質問

代表質問については、質問者から提出された原稿で掲載しています。

## 自由クラブ

質問者 丹羽 一正

### 市政運営の基本的な考え方について

▶ 質問

人口減少が叫ばれる中、本市の若い世代の人口は概ね一定水準で推移しており、今後もこの水準の維持が必要である。そのためには「選ばれるまち」として、魅力をどのようにPRしていき、市民の「生活の質」「心の豊かさ」の向上にどのように取り組んでいくのか、本年の市政運営の基本的な考え方について問う。

担当 企画政策課

【答弁】本市では、一番の魅力を「暮らしやすさ」ととらえ、その魅力をPRするとともに、「暮らしやすさ」のさらなる向上を目指し、各施策に取り組んでいます。本年は、これまで築いてきた安全安心な市民生活の基礎となる施策を土台として、市民の皆様の「生活の質」や「心の豊かさ」の向上に資するように、日々の生きがいや楽しみを感じることができる新たな魅力を創出し、「暮らしやすさ」のブランドに一層の磨きをかけていきます。



### 近隣の自治体との連携について

▶ 質問

交通基盤や情報通信網の整備などにより、人々の日常生活や経済活動の範囲が行政区域をこえている。人口減少などを背景に広域で取り組むことが行政課題の効果的、効率的な解決の糸口となる。近隣の自治体が連携して地域全体の市民サービスの向上に取り組むことが必要であると考えているが、今後の取り組みについて問う。

担当 企画政策課

【答弁】今後、財源などの限られた資源をこれまで以上に効果的かつ効率的に活用していくためには、近隣の自治体と連携し、地域全体の活性化や行政課題の解決に向けて取り組むことが重要と考えています。本年は、多治見市との間で相互の市の行事等のPRを行うほか、消防職員の人事交流についても拡大します。また、本市と多治見市の両商工会議所が連携するなど、産官ともに協力してこの地域の発展を目指します。



### 文化・スポーツ都市宣言について

▶ 質問

健康寿命延伸のための健康づくり、生きがいによる心の健康、又東京オリンピック・パラリンピックや愛知県・名古屋市共催のアジア大会の開催により、今後、益々スポーツ、文化の果たす役割が大きくなると思われる。文化・スポーツ都市宣言を機にどのような取り組みを、どのように取り組まれるのか問う。

担当 文化・生涯学習課・スポーツ課

【答弁】文化・スポーツ都市宣言に伴う、主な取組につきましては、「文化・スポーツ都市宣言記念式典」の開催、「日本ハンドボールリーグ春日井大会」の誘致、日本画家「森脇正人」氏の展示会の開催、「文化体験道場」の拡充や「スポーツフェスティバル」の朝宮公園での開催など、様々な記念事業を開催し、市民の皆様楽しんでいただくとともに、各種団体の皆様のご協力のもと、さらなる文化・スポーツの推進を図っていきます。



### 多目的総合運動広場の整備について

▶ 質問

平成29年4月に朝宮公園が県から市へ移管されます。これに伴い整備構想が示され、待望の陸上競技やテニス大会等が可能となり、本市のスポーツ種目競技の多様化と向上につながり、完成が待ち望まれる。当該地は市街地に位置することから、周辺環境整備に配慮するなど、施設の整備と維持管理に至るまで、今後の考え方について問う。

担当 企画政策課

【答弁】朝宮公園は、すべての市民がスポーツを楽しむことができる場、健康で心豊かな生活を送るための健康づくりの場、子どもたちが外遊びを通じ、自然と触れ合いつつ体力の向上を図る場として整備します。また、施設や公園全体を活用し、健康増進や生きがいづくりのための事業を実施します。整備後の施設の維持管理は、ランニングコストの低減などの観点から、最善の方法を検討し、こうした点もあわせて基本計画を策定します。



その他の  
質問事項

- 「子どもの貧困」対策について
- シルバー人材センターの移転について
- 新型市民農園について
- 浸水対策について
- 地域防犯力の向上について
- ICTの活用について 他

市政方針とは、市長が市政運営に対する基本的な考え方や主要な施策について述べるものです。内容は春日井市のインターネット公式サイトで御覧いただけます。



## 公明党

質問者 田中 千幸

### 高齢者の活躍の場づくりについて

#### ▶ 質問

子ども見守り隊の方から、元気である為には「きょうよう」「きょういく」が大事と伺った。今日も用事がある、今日も行くところがある、という意味とのこと。毎日外出し、誰かの役に立っていくという、含蓄のあるお話であった。大先輩方の知識や愛情というお力をお借りして、高齢者がいつまでも元気で活躍できる場の提供について本市の考え方を問う。

担当 企画政策課

【答弁】高齢者の方々が、地域の子どもたちとともに過ごす時間は、「生きがい」にもつながると考えています。地域で放課後の子どもの居場所を整え、高齢者の方々が培ってきた経験を子どもたちに伝え一緒に過ごすことは、高齢者と子どもの顔の見える関係をつくり、地域コミュニティの醸成にもつながります。本年は、担い手やニーズを把握し、できるだけ多くの方に参加していただける運営の手法等を調査研究します。



### 買物支援事業について

#### ▶ 質問

平成25年9月の定例会で、私ども公明会派の先輩議員が、買い物弱者の支援について一般質問させていただいた。その後、画期的な仕組みを構築していただき、多くの方々から喜びの声が寄せられた。私の住まう地域でも「対象地域を拡大してほしい」との声があった。官民連携による画期的な買い物支援事業の事業拡大にあたり本市の支援について問う。

担当 経済振興課

【答弁】本年は、新たな地域において買物の機会が提供できるよう事業拡大を図ります。具体的には観光コンベンション協会や販売事業者と連携を図る中で、これまでの実績と課題を検証したうえで、ご要望のあった地域については、アンケート等により買物環境の状況調査や意向調査等を行うとともに、顧客の掘り起こし等を実施していきます。また、地区の拡大に伴う車両購入に係る経費につきましても支援していきます。



### 交通安全の推進について

#### ▶ 質問

先日総務委員会で第10次交通安全計画の報告があった。これまで官民一体となった粘り強い活動が推進され、感謝と高い評価を申し上げる。高齢社会の進展に伴い高齢者が関係する交通事故のニュースが多く、事故増加が懸念されるが、昨年発生した交通事故の状況を踏まえ、高齢者の事故の抑止につながる、本市の現状と今後の事故防止の考え方について問う。

担当 交通対策課

【答弁】昨年の交通事故死者数は、昭和39年以降で最小の4人にまで減少したことは、地域を始め各種団体や事業所等における交通事故防止活動などの成果です。この状況においても、一層の交通事故抑止を図るため、歩行者、運転者それぞれの立場に対する様々な施策を推進していきます。特に高齢者の事故対策として、反射材着用などの啓発活動や、外出の足となる公共交通機関充実などの施策を検討していきます。



### 高蔵寺ニュータウンのまちづくりの推進について

#### ▶ 質問

計画的なまちづくりが行われてきた高蔵寺ニュータウンだが、時代の進展とともに、当初の前提条件が変化してきた。転換期を迎え、いよいよ具体的な施策として手が打たれ始めている。その中で、JR高蔵寺駅北口の整備は、国の補助事業を活用した先進的な取組として注目するところである。現在の検討状況と事業化に向けた今後のスケジュールについて問う。

担当 ニュータウン創生課

【答弁】JR高蔵寺駅周辺再整備は、高蔵寺リ・ニュータウン計画の先導的な主要プロジェクトに位置づけており、今年度は、地域が魅力ある空間となり賑わいの創出が図れるよう、駅前広場や公園などの公共施設の再編や商業施設などの導入可能性等の検討を行っています。事業化に向けては、エリア価値の向上と事業採算性の確保の両立の観点から、関係機関との協議、望ましい整備の内容や手法の検討を行っていきます。



#### その他の質問事項

- 子育て支援のさらなる充実について
- 「子どもの貧困」対策について
- 地域包括ケアシステムの体制づくりについて
- 男女共同参画の推進について
- 企業誘致について
- リリックについて 他

日本共産党春日井市議会議員団

質問者 伊藤 建治

新型市民農園について

▶ 質問

西尾町の予定地34,000㎡は、大方は耕作や保安全管理がなされた優良な農用地。基本計画通りならば、貸農園、体験農園合わせても取得面積の1/3程度しか農地利用されない。基本計画では市民農園整備促進法により整備をする方針だが、この内容では同法を用いることは難しい。計画は思いとどまることが賢明と思えるが、進めるならば法的な問題をどうクリアするのか。

担当 農政課

【答弁】 予定地は、畑だけでなく既存の果樹を活かしながら、全体面積の約2分の1を日帰り農園エリアや収穫体験農園エリアとして整備するなど、「農」に関する様々な場や体験を提供できると考えています。また、整備できる施設や整備費など様々な角度から整備手法の検討を行った結果、飲食店や直売所の設置が可能であるなどのメリットがあることから、今後、都市公園法に基づく整備に向けて、関係機関との協議を進めていきます。



果、飲食店や直売所の設置が可能であるなどのメリットがあることから、今後、都市公園法に基づく整備に向けて、関係機関との協議を進めていきます。

「子どもの貧困」対策について

▶ 質問

貧困を起因とする不安定な生活環境の中で十分な学力が身に付いていないことが、後の進学や就労選択に不利な要件となる。ここへの支援として、経済的な理由で学習補助が受けられない子どもたちへの支援を打ち出したことを高く評価する。子どもの貧困率や、他市での実施状況を鑑みれば、さらに拡げていくことが求められている。拡げることについての考えを問う。

担当 生活支援課

【答弁】 学習意欲があっても様々な事情により学習補助の受けられない高校進学などを旨とする中学生に学習の機会を提供することで、その子どもたちの将来の可能性も広がるものと考えます。本年は、市内2か所で一人ひとりの学習レベルに沿った教室を開催する予定ですが、今後につきましては、この事業を検証しつつ、協力を得られる個人・団体の方々とともに支援に取り組んでいきます。



ごみ出しアプリについて

▶ 質問

家庭ごみの適正処理について、ごみの分別方法や収集日などの情報を市民の皆さんにわかりやすく提供する方法を検討とのこと。わが会派の議員が、スマホ用アプリでの情報提供を提案した経緯もあるが、どのような方法を考えているのか、詳細を問う。

担当 ごみ減量推進課

【答弁】 ICTを活用した市民サービスの一つとして、ごみの収集日や分別方法などの情報提供ができるスマートフォンアプリの導入を考えていきます。

また、家庭ごみの適正な排出については、ごみ出しマナーの向上が重要であることから、職員によるごみステーションでの立ち番指導や清掃などごみ出しマナーの向上に向けた啓発や指導を行っています。



保育行政、育休退園について

▶ 質問

高まる保育需要、とくに年度内で待機児童が発生している0～2歳児の受け入れ態勢の拡充は課題。新たに開園する保育施設でどの程度の受け入れ拡大をするのか。0～2歳児においては、親が育休に入ると退園をしなければならない課題がある。毎年100人前後の育休退園があり、子どもたちに大きな負担となっている。育休退園についても解消できる見込みはあるか。

担当 保育課

【答弁】 認定こども園1園と小規模保育事業所6園の開園により、定員は259人、そのうち0～2歳までは159人の増員を図ります。また、育休退園は、幼児では定員に多少余裕があるため生じていません。一方、低年齢児は定員増加を図っていますが、希望者が多い状況にあります。そうしたことから、復帰の際に可能な限り希望園に入園できるよう配慮しています。



その他の質問事項

- 経済政策について
- 高齢者総合福祉計画について
- 災害廃棄物処理計画の策定について
- 生活排水の処理について
- 水道事業について
- マイナンバーカードの活用について 他

子育て環境の充実について

▶ 質問

本市は「子はかすがい、子育ては春日井」宣言のもと待機児童の解消に向けた取組みやNPO団体との連携による働く女性の支援など数々の取組みが行われている。一方で老朽化した保育園も散見される状況にあり、保育士の確保も喫緊の課題である。平成29年度に新たに整備される保育施設の状況と老朽化園への今後の計画、保育士の処遇改善の内容を問う。

担当 保育課

【答弁】 認定こども園1園と小規模保育事業所6園を4月に開設します。今後の保育園については、点検・修繕等により長寿命化を図るとともに、公共施設等マネジメント計画に基づき、老朽化の状況把握、将来的な保育需要、民間事業者による保育園等の整備動向などを総合的に勘案し、今後の方向性を検討していきます。また、処遇改善としては、新たな人材確保、離職防止のため、公立保育園の臨時保育士の賃金を改善していきます。



市民病院における医療の充実について

▶ 質問

春日井市民病院は、尾張北部医療圏においての基幹病院として地域医療全体を俯瞰しつつ、患者中心の効率的かつ質の高い医療体制を構築し、病診連携、医療介護連携を推進するため主体的役割を担っていくことが求められている。地域完結型医療の推進に向け、地域の医療機関との連携、市民病院の医師の確保、終末期医療体制の取組みについて問う。

担当 市民病院管理課

【答弁】 地域の医療機関との一層の連携強化を図るため、電子カルテシステムの更新にあわせ、患者の検査や画像などの医療情報を共有できるシステムを導入します。また、地域の基幹病院として、より高度で専門的な医療を提供できるよう医師の確保・充実には最優先に取り組むとともに、試験的な運用を始めた緩和ケア病床の状況を見ながら、緩和ケアの充実を図っていきます。



春日井まつりについて

▶ 質問

40回の節目を迎えた春日井まつりは、様々な市民団体との連携も深まり多くの市民で賑わった。その一方混雑した会場内で人とすれ違うのが難しい場所も見られ、新たな会場敷地の確保が課題だが今後の方向性について問う。また、市民納涼まつりでは花火が終わった後一斉に帰路につくため、動線の見直しやバス乗降場所の見直しなどが課題だが今後の対策を問う。

担当 市民活動推進課

【答弁】 春日井まつりについては、さらなる魅力の向上を目指すため、会場周辺の公共用地の有効活用を図ることにより、歩行者用道路の混雑解消にもつながるものと考えており、今後、会場の拡充を含めた改善策を検討していきます。また、市民納涼まつりについては、来場者の安全を第一に、パークアンドライドの拡充、柏原線に集中しているシャトルバス乗り場の分散、渋滞案内の広範囲化等、様々な方策について検討していきます。



高蔵寺ニュータウンのまちづくりの推進について

▶ 質問

高蔵寺リ・ニュータウン計画が策定され、旧藤山台東小学校施設（東施設）を活用した多世代交流拠点の整備は、多くの市民の皆様にも活用される施設と期待されている。東施設の管理運営をどのように行っていくのか、地域やNPOとの連携および同施設への移動手段整備について問う。また、旧西藤山台東小学校施設（西施設）の検討状況、今後の予定について問う。

担当 ニュータウン創生課

【答弁】 東施設は、施設の魅力を高め賑わいを創出するため、複合施設としての機能連携や、NPO・地域住民が活躍できる仕組づくりなど、まちづくり会社による総合的な運営管理を行います。施設への移動手段は、周辺道路の歩道拡幅を行い、その他の手段も検討します。

西施設は、民間活力による活用内容や運営手法を検討しており、地域住民の意見を聞きながら、暫定的な活用を行い、将来の本格的な活用につなげていきます。



その他の質問事項

- 子どもたちへの支援について
- 学校の環境整備について
- 書のまち春日井の発信について
- 大規模な会議等の誘致を含め、観光コンベンション協会の対応について
- 放置自転車対策について
- 市制100周年を迎えたときの本市の未来図について 他

# 一般質問

## 市政全般にわたる問題について質問します

今回の定例会では、11人の議員が市の考え方や方針など、市政全般にわたり、22項目の一般質問を行いました。一般質問は、市当局に対し施策・事業などの現状や将来計画の考え方など、市民に密着した問題をたずため行うものです。各議員の質問と当局の答弁を、要旨で掲載しています。

(一般質問については、質問者から提出された原稿で掲載しています。)



道風くん

### 1 障がい者の計画相談支援について

質問者 はせ かずや

**質問** 平成24年障害者自立支援法改正（現在の障害者総合支援法）から5年経過。当市の計画相談支援は、県内の他市町村と比べセルフプランの比率が高く、体制整備の遅れが課題。専門的で選択肢があり、一定期間のモニタリング（検証）が可能な相談支援専門員によるあるべき計画相談支援の確立に向け、地域自立支援協議会を軸とした連携強化などの対策を求める。

その他の質問事項 • 福祉応援券について

担当 障がい福祉課

**【答弁】**セルフプランであっても、サービスの利用開始当初から、更新、変更の際に、障がい福祉課などが相談に乗り、効果的で適切なサービス利用を支援しています。また、春日井市地域自立支援協議会では、計画相談支援の必要性を踏まえた利用促進の検討などを行っています。今後も、計画相談支援の推進に向け、その必要性を社会福祉法人等へ説明し、相談支援専門員の養成を促すとともに、事業実施を個別に働きかけていきます。



### 2 公文書の管理について

質問者 あさの 登

**質問** 本市には「公文書管理条例」がなく、規則によって公文書管理がされているが十分ではない。公文書は市民共有の財産であり、現在を将来に伝える役割がある。①本市の公文書管理の現状について②公文書管理法に基づいた「公文書管理条例」の制定について③歴史的重要な公文書を保存、公開する施設「春日井市公文書館（仮称）」の設置について問う。

担当 総務課

**【答弁】**①公文書の管理につきましては、春日井市文書取扱規程等に基づき、作成及び保存等適切に管理をしています。②春日井市文書取扱規程において、文書作成、整理及び保存を適正に行う義務を明記していることから、公文書管理条例を制定することは現在のところ考えていません。③公文書館は意義あるものですが、本市においては公文書の集約の必要性が高くないことや、その設置及び管理等には多額の費用がかかること等から、現在のところ設置は考えていません。



### 3 交通安全条例の改正について

質問者 末永 けい

**質問** 愛知県交通安全条例では、高齢者等の安全な通行への配慮の項目、自転車の安全利用の項目を設けている。県内他市においても、同趣旨の項目が条例にある。高齢者等の事故防止の項目、自転車の安全利用の項目を本市の条例に新たに追加し、市や市民の役割を明らかにすることで、認識を共有し一体となって、交通事故のない街を目指す必要があるが、所見を問う。

その他の質問事項 • 企業等との連携協定について • 身近な歴史的建造物の登録・認定制度について

担当 交通対策課

**【答弁】**春日井市交通安全条例は、交通事故防止活動の諸対策や活動を進めるための根拠とする目的で制定したもので、すべての市民の事故防止や、すべての車両の安全利用を推進するための安全教育、及び啓発活動の基本方針を定めています。交通事故防止の具体的な取組は、法に基づく交通安全計画、及び年度毎の交通安全運動実施計画において定めることとしているため、条例改正を行う考えは今のところありません。



• 小中学校における部活動の適正化について

## 4 ICTを活用した教育推進について

質問者 いしとび 厚治

**質問** 本市は、出川小学校を中心として学習規律とICTの活用で豊かな学習活動の創造に挑戦されている。その中で学習指導要領の改訂に向け「主体的・対話的で深い学び」の視点から授業改善が求められている。学習活動の充実を考えると、ICTをどのように活用していくかは切り離して考えることができない。そこで①現状と②今後の計画と準備について問う。

その他の質問事項  
•ヘルプマーク・ヘルプカードについて

担当 学校教育課

**【答弁】**①平成23年度から出川小学校にて、学習規律の徹底とICTの有効活用を柱とし、授業の効率化が図られたわかりやすい授業を行う実践研究を進めており、その成果は、教員への研修等を通して広く市内小中学校へ普及・浸透できるよう水平展開してきました。②平成25年に開発した教職員研修プログラムに基づき、教職員の研修を充実することで、教職員の授業力向上と、児童生徒の学習活動の充実につなげる教育を進めていきます。



## 5 学校を核とした地域力強化プランについて

質問者 田口 よしこ

**質問** 本市の未来に関わる子どもたちの成長のために、学校と地域が連携・協働することは必要と考えるが現状について。地域の人材資源であるボランティアと学校、保護者、子どもが抱えている課題をつなげていくマッチングは重要。ボランティアのとりまとめ、地域の人材の掘り起こしなど、連携を図るために地域と学校をつなぐコーディネーターの設置について問う。

担当 学校教育課

**【答弁】**地域においては、登下校の見守りや花壇整備などの学校支援活動に協力頂き、学校においては、地域の防災訓練に中学生がボランティア参加するなど、学校が地域と交流を進めています。また、平成28年度に、藤山台中学校区学校地域連携協議会の事務局に2名の地域コーディネーターを設置しました。この取り組みの成果を十分検証し、地域コーディネーターの設置を含めた地域と学校の連携・協働体制の在り方について、よりよい手法を検討します。



## 6 リニア中央新幹線工事について

質問者 伊藤 建治

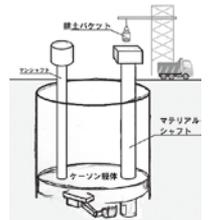
**質問** 坂下非常口新設工事の概要が示された。通学路への配慮はどうであるか。工事は深夜にまで及ぶ。ケーソン沈下時の振動や、10分間隔で生ずるマテリアルロックからの音がどの程度のものか。生活への影響が認められた場合、深夜の工事の中止を求める考えはないか。月に一回程度600台ものミキサー車でコンクリートの打設を行う。その実施日の周知はどうなるか。

その他の質問事項  
•朝宮公園の移管に伴うプール解体費について

担当 環境保全課・交通対策課

**【答弁】**周辺住民から騒音等に関する苦情が寄せられた場合は、現状把握のために現地調査を実施し、騒音等の低減を図るよう求めていきます。

工事用車両の通行に対する警備員の配置など安全対策の実施や、ニューマチックケーソン工法に関して振動発生の可能性は小さいこと、防音・消音対策の実施など、工事に関する説明を受けています。コンクリートミキサー車の通行に関する事前周知として看板設置の実施などをJR東海に要請していきます。



•春日井市消防団について

## 7 ビジネスフォーラムのあり方について

質問者 村上 しんじろう

**質問** 平成28年度で10回の開催を数えるに至ったビジネスフォーラムについて、会社紹介や就職フェアの要素を含めた企業PRの場なのか、商談成約を狙ったものなのか、コンセプトが曖昧であるという声が上がっている。フォーラムの目的を明確に示し、ターゲットとする来場者を絞り込む必要があると考えるが、今後のフォーラムのあり方について問う。

担当 企業活動支援課

**【答弁】**これまで、出展企業からの要望を踏まえ、ターゲットを企業間取引に絞ってきましたが、今後、金融機関と連携したマッチングを当日だけでなく出展申込後から年間を通じて実施し、企業間取引を希望する製造業のニーズに応えるとともに、商業・サービス業のニーズに応えるよう、一般来場者になじみやすいイベントや物販等を検討し、来場者数増加を図ります。また、市内高等学校との連携をさらに深め、地元雇用の拡大に努めます。



## 8 高齢ドライバーの交通事故対策について

質問者 石原 めいこ

**質問** 本年3月より施行される改正道路交通法の強化施策（認知機能検査の義務化）、運転免許証の自主返納、そして返納後の生活環境づくりとして外出支援、移動支援が喫緊の課題である。そこで①高齢ドライバーに対する道交法改正の周知・啓発について。②運転免許証返納について。③返納後の外出支援・移動支援について、当局の考えを問う。

担当 交通対策課

**【答弁】**①今回の道路交通法改正は、事前周知として交通安全キャンペーンでチラシを配布しましたが、今後も様々な機会で行う活動を実施していきます。②運転免許証返納後に車を運転しなくなると、生活に不便が生じると考えている60歳以上の方が多いと見ています。③国の動向などを見定めながら、運転免許証を返納した高齢者も利用しやすい公共交通機関の充実を検討するなど、移動しやすい環境づくりについて調査研究していきます。



## 9 非核平和行政について

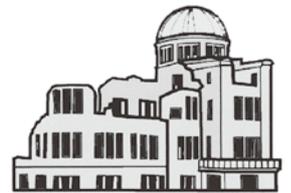
質問者 内田 謙

**質問** 昨年、国内外の被爆者代表が、「ヒロシマ・ナガサキの被爆者が訴える核兵器廃絶国際署名（ヒバクシャ国際署名）」を呼びかけている。その趣旨は、すみやかな核兵器廃絶を願い、核兵器を禁止し廃絶する条約を結ぶことをすべての国に求めるというものである。国連でも、核兵器禁止条約に関する会議が始まる。署名に賛同することを市長に求める。

担当 総務課

**【答弁】**条約の締結に関することは、国の事務であることから、本市が国へ直接働きかけることは考えていません。また、核兵器廃絶国際署名への署名についても、現在のところ考えていません。

一方で、本市では「平和首長会議」に加盟するとともに、一昨年、「平和都市」を宣言し、核兵器の廃絶による恒久平和と戦争のない社会の実現を願っているところです。



その他の質問事項 • 藤山台中学校区旧小学校施設の活用について

## 10 マイナンバーについて

質問者 原田 祐治

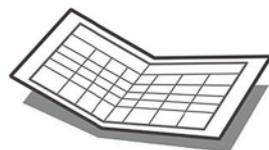
**質問** 2017年度から住民税の特別徴収額の決定通知書にマイナンバーを記載する欄が設けられる。①春日井市ではマイナンバーを記載する予定かどうか。もし記載するのであればどういう考えに基づくものかということと、郵送方法について②東京都内では記載しない自治体が増えている。この地方でも記載しない自治体が多く出てきた場合、どういう対応をとるのか問う。

担当 市民税課

**【答弁】**①特別徴収税額決定通知書については、地方税法及び同法施行規則に準じて市が規則で定めており、その様式に従い個人番号を記載する予定です。

また送付方法は、他の税通知等と同様に普通郵便を予定していますが、封筒に誤配達があった場合等の取り扱い方法を記載するなど、十分な配慮を行っていきます。

②東京都をはじめ、近隣他市の状況については注視しつつ、地方税法等に基づき対応していきます。



その他の質問事項 • 公園施設について

## 11 一人暮らし高齢者の困りごとの支援について

質問者 宮地 ゆたか

**質問** ある日急激に膝等が痛くて身動きが取れなくなった時医者へ行くのにどうするか。介護保険は利用していない、年代の近い知人では急に力を借りるとしても難しい等々の場合の支援について。一人暮らし高齢者の人数とその内で介護保険を利用していない人数、利用可能な福祉サービスと緊急でも利用可能なサービスとその分かり易い表現について、問う。

担当 地域福祉課

**【答弁】**ひとり暮らし高齢者数は、民生委員の調査で9,233人。そのうち介護保険の利用のない方は概ね7,000人です。高齢者の日常生活を支援するサービスは、配食サービスの利用助成や生活支援ホームヘルプサービス、緊急通報システム設置などがあります。傷病等で緊急の必要がある場合は、申請の翌日からヘルパーを派遣するなど、状況に応じて対応しています。サービス案内はより分かりやすい表現を検討します。



その他の質問事項 • 配食サービスについて • 長期化・高齢化が進む引きこもりの人の支援について

## 市議会のホームページ

インターネットで次のような情報をご覧いただくことができます。



- 市議会議員名簿    ○提出議案・請願一覧    ○一般質問事項一覧
- 市議会だより    ○市議会の予定    ○本会議・常任委員会の議事録
- 傍聴について など

【アドレス】 <http://www.city.kasugai.lg.jp/shigikai/>  
春日井市のホームページからアクセスしてください。



## 傍聴のお知らせ

市議会の本会議や委員会は傍聴することができます。

平成28年では、本会議には延べ199人、委員会には延べ15人の方に傍聴にお越しいただいております。

皆さんもぜひ、議会の傍聴にお越しください。

また、お子様連れの方も含め、より多くの方々に議会を知っていただくため、本会議の開会中は市役所1階市民ホール及び5階議場傍聴席入口横に、本会議の様子をご覧いただくことができるテレビを設置しています。



### 【本会議を傍聴される方】

本会議は通常午前10時に開会します。傍聴を希望される方は市役所5階の議場傍聴席入口にお越しください。定員は88人で、うち車いす席は6席です。

### 【委員会を傍聴される方】

常任委員会は通常午前9時に開会します。当日の午前8時30分から午前8時45分までに市役所3階議会事務局にお越しください。定員は5人で定員を超えた場合は抽選により決定します。

問い合わせ 議事課 (☎85-6492)



道風くん



## 平成29年の議会開催予定

- 第2回臨時会 5月11日(木)～5月15日(月)
- 第3回定例会 6月15日(木)～7月3日(月)
- 第4回定例会 9月8日(金)～9月28日(木)
- 第5回定例会 11月29日(水)～12月18日(月)

※議事の都合により、日程が変更になる場合があります。

問い合わせ 議事課 (☎85-6492)

## 編集後記

今号をもちまして、平成28年度の議会報編集委員は任期を終了いたします。

この1月20日には、ドナルド・トランプ氏が第45代アメリカ合衆国大統領に就任し、多くの方々が関心を持たれたことと思います。議会報につきましても、議会の活動をより多くの市民の皆様方に興味を持っていただくため、本会議や委員会での審議の結果や質疑応答など、できるだけ分かり易くお伝えできるような紙面づくりに努めてまいりました。

今後も引き続き、ご愛読いただきますようお願い申し上げます。

編集委員一同